

# 生活再建に向けた問題の整理や **就職** **住居** **家計管理** 等をサポートします。

離職による収入減のほか、病気や借金、家計管理の問題など、生活が困窮する原因はさまざまです。ひとつの問題なら何とかなるかもしれませんが、問題が重なったり見えにくくなったりすると解決はより困難になります。相談窓口では一人ひとりの状況を丁寧にお聞きしながら問題を一緒に整理し、個別の支援計画をたてて解決に向けた支援を行います。



## 自立相談支援事業

### 問題を整理し、あなただけの支援プランを作ります。

生活に困りごとや不安を抱えている場合は、まずは相談窓口にご相談ください。相談支援員が相談を受け、問題の整理とともにどのような支援が必要かをあなたと一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

## 住居確保給付金

### 家賃相当額を支給します。

離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方には、就職に向けた活動をするなどを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。生活の土台となる住居を整えた上で、就職に向けた支援を行います。

**※一定の資産収入に関する要件を満たしている方が対象です。**



## 家計相談支援事業

### 家計状況を整理し、家計の立て直しをアドバイス。

家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ、必要に応じて貸付のあっせん等を行い、早期の生活再生を支援します。



※各種事業の利用のほか、関係機関と連携したり場合によっては適切な支援機関へお繋ぎします。

## Aさん（52歳女性）

### 複数の問題を抱えたケース

借金を抱えたAさんは借金の返済のため光熱費が払えないことしばしば。年金保険料や健康保険料も払えない状態が続いていました。借金の返済に追われて普段の生活もままならない状態が続き、さらに母親の介護問題も抱え疲れ切っていました。

## 問題の整理と解決に向けた方向付け

家賃や光熱費の支払い、介護費用の支払いなどが毎月遅れて溜まっていたAさんは、何にいくらかかっているのか、毎月の収支がプラスかマイナスかも分からない状態でした。整理すると借金の返済が家計を圧迫し、膨らんだ借金は現在の収支状況では返済が難しい状況でした。まずは司法書士に相談し、債務整理をして再建を図ることとしました。また、家計相談支援を受け、月々の収支を整理し無駄をなくすことで家計の正常化を図り、滞納に対する支払計画とマイナスにならない見直しを立てました。これにより母親の介護計画も見直し、徐々に解決に向けた道を歩み始めました。

## Bさん（39歳男）

### 緊急支援のケース

突然契約社員だった会社を解雇されたBさんは、貯金が底を尽き、今月の家賃が払えなければアパートを出なければいけません。ハローワークにも通い就職活動していますが、すぐには見つかりません。年金生活をしている両親も収入が少なく、援助は期待できません。

## 他制度を活用した複合的な支援

Bさんは貯金が尽きてしまいこのままではアパートを追い出されてしまう状況です。まずは住居を確保する必要があるため、市が実施している住居確保給付金の説明を受け、給付が受けられることとなりました。さらに緊急食糧支援と当面の生活費として社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業から生活費の借り入れを行い、就職活動を続けました。ハローワークで履歴書の書き方や面接の受け方などの指導を受け、就職先を見つけることができました。給料が入り、少しずつ生活が軌道に乗り始め、借りた生活費を返す目途がたったことで自立生活を取り戻しました。